



カジカの学君

V o l . 2 9

発行元 特定非営利活動法人 加治川ネット21
 〒957-0345 新潟県新発田市小戸886-1 TEL0254-31-4111 FAX31-4088
 ホームページ URL <http://www.inet-shibata.or.jp/~kjn21/> E-mail kjn21@ml.shibata.ne.jp

会費振込先 郵便局振替口座 00500-5-35812 株式会社第四銀行 新発田東支店 普通口座1196959

あ が き た い け ぬ ま ち ょ う さ 阿賀北池沼調査2005

9月に入り、秋の気配も感じられるこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、秋のイベントとして定着しつつあるこの事業、今年は加治川地区で開催します。元気な加治川地区の子供たちも参加します。どうぞ、お気軽にご参加ください。

記

日時 平成17年10月8日(土) 午前9時30分集合
 場所 大天城公園駐車場

※雨天の場合は、加治川地区公民館で学習会を開催します。

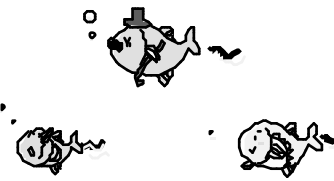
申込み 9月26日(月)×切
 加治川ネット21事務局
 〒957-0345 新発田市小戸886-1
 TEL 0254-31-4111 FAX 0254-31-4088 メール kjn21@ml.shibata.ne.jp

持ち物 お弁当、着替え(靴・上下衣)、タオル、帽子、筆記用具
 網(貸出可)、虫かご(希望者のみ)、空ペットボトル(2.0ℓ)
 ※安全のため靴(長靴)を履いたまま川に入ります。替えの靴をご用意ください。

参加費 大人・子ども 300円 (当日徴収します。忘れずにお持ちください)

条件 小学生以上(保護者同伴。子供のみ参加は小学校3年生以上)

主催 NPO法人加治川ネット21、加治川地区公民館
 (加治川地区公民館では、加治川地区小学校の子供たちを対象に呼びかけを行っています)



自然の恵み満喫します

きのこ観察会&日本酒探訪

加治川の水源地、飯豊連邦の山々がもたらす自然の恵みを代表し、秋の味覚きのこと一緒に新発田の地酒を味わいます。今回は、会員限定先着順です。奮ってご参加ください。

とき: 10月16日(日)
 場所: 未定 定員: 20名

詳細は後日ハガキで連絡



ぼくらは加治川探検隊!!

8月7日の日曜日、今年5回目となる「ぼくらは加治川探検隊!!」が開催されました。今回は、趣向を変えて会場を滝谷森林公園の河川敷に移し、特別にニジマス、イワナのつかみ取りなども行われました。

当初は左岸側河川敷を予定していましたが、(さすが清流の河川敷)アブの多さに、急遽キャンプサイト側に変更し、あわただしく設営に取り掛かかるハプニングもありました。

当日は、市内外からの子どもたち31人を含む55人が参加。これまでに最高の参加人数となりました。



川山に入る前の「事前学習」

まずは、近くの水路をせき止めて行われた溪流魚のつかみ取り、子どもたちから歓声があがり、にぎやかな始まりとなりました。

午前中は、このあと鬱蒼とした木立の中を流れる清流の沢筋で生き物を採取し、キャンプ場脇のトンボ池では、いろいろな種のヤゴを捕まえました。

また、植物採取では食べられるものとそうでないものの説明を聞き、食べられるものはお昼のおかずとして採取しました。

昼には恒例の豚汁と一緒に、みんなで捕まえた魚の塩焼き、野趣あふれる野草のテンプラ、差し入れのスイカなどを食べました。

午後からは竹を使った水鉄砲づくりです。完成した自前の一品での放水競技を行い、優勝者にはスイカの御褒美が出ました。このほかに、川原の石に関する勉強会やストーンアートもあり、今年も内容盛りだくさんで、それぞれに滝谷の自然を十分満喫できたのではないのでしょうか。

最後まで雨に打たれることなく盛況のうち終わることが出来ました。

参加者からは良い企画であるとお褒めの言葉もいただき、子どもたちも充実した夏休みのひとときを過ごせたのではないかと思います。



マイ水鉄砲づくり



川の石の話 (伊藤先生)

越地区緑の少年団交流イベント

8月19日(金)、下越地区緑の少年団交流集会イベントが開催され、午後からの分科会で行われた「加治川探検隊」と「五十公野公園探検隊」を加治川ネット21が担当しました。

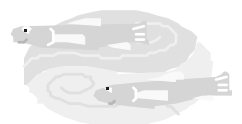
[加治川探検隊コース]



加治川探検隊には少年団の27名が参加。

全員で「川の生き物」と「川原での石について」を学んだ後、田んぼの生き物探検と水鉄砲作りの2班に分けられました。

川の生き物の説明では、事前に捕まえておいたドジョウやアブラハヤなどの生息環境や習性などの話がありましたが、話すよりも早く子どもたちから「アブラッぺだ!」との声もあがっていました。



続いて元中学校教員である伊藤先生より河原の石の話がありました。先生は石を手にして、「石は何億年間も堆積したプランクトンや火山灰などで出来ていて、同じ花崗岩でも色が違うのですよ。この、凸凹の石はガスが抜けた跡ですよ」などと説明されました。石の話は、引率者であるサポーターの方が興味深げに聞き入っていたのが印象的でした。

田んぼの生き物探検では、土水路で野生のメダカをすくったり、川底からシマドジョウを見つけ出したりと、全員大奮闘でした。



ほら、水鉄砲上手にできたよ



田んぼの生き物捕獲

加治川での水鉄砲作りはスタッフのアドバイスもあり、全員が上手に作ることが出来ました。

最後には、湖沼の生き物であるタイリクバラタナゴのプレゼントもありました。小さくてきれいな魚です。もらった人は最期まで責任を持って飼育してほしいと思います。

加治川の天然プールは、こどもたちの格好の遊び場です。

今回の事業では時間が少なく泳ぐことは出来ませんでした。今度はぜひ友達やお家の方と一緒に来て、川遊びを楽しんでください。

[五十公野探検隊コース]



五十公野公園の概要説明

五十公野探検隊には、31名の子供たちが参加しました。

まず、最初に4種類のヒントを書いた台紙が配られました。今回は、台紙に書かれたヒントを基に様々な葉を探します。芝生広場を出発し、森林館脇のせせらぎに沿って五十公野山に入ります。最初に見つけたのは、ギザギザした葉。モミジの葉によく似た『キイチゴ(モミジイチゴ)』の葉です。山道を登りながら、丸い葉やにおいのする葉、お気に入りの葉などを探して歩きました。

歩きながら、さわるとかぶれる『ウルシ』の見分け方を教わり、食べられない『ノブドウ』の実を触り、秋の七草『ハギ』の花を眺め、変な模様の葉っぱのブツブツが虫の卵だったのに驚いたりしながら、それぞれ台紙に自分なりに見つけた4枚の葉を貼り付けていきました。

最後は会場をサンワーク・しばたに移し、台紙をラミネートシートに挟んで完成です。初めての作業で、シートをうまく貼れない子もいましたが、今回見つけたたくさんの植物を思い出しながら、四季折々に変わる五十公野山道を何度でも楽しんでほしいと思います。



いろいろな葉っぱを集めたよ

ボランティアフェスティバルに参加しよう！

この度、加治川ネット21も新発田市ボランティア連絡協議会に加盟いたしました。

10月30日(日)には、新発田市カルチャーセンターで協議会主催のボランティアフェスティバルが開催されますので、皆様もぜひお出かけ下さい。 **当日の運営スタッフを募集中です**

とき・ところ：10月30日(日) 午前10時～午後3時

スタッフ募集：当日(概ね9時～5時)スタッフを募集します。問合せは、ネット事務局まで

チャリティー物品募集：不要贈答品、鉢植え(名前と育て方を明記)など。詳しくはHPに掲載

久保・太齋地区「ふるさと生き物観察会」

8月21日（日）新発田市久保地区で開催された「ふるさと生き物観察会」には、会員や集落の子どもたちなど12名が参加しました。

久保地区の湧水地からコンクリート水路までの区間200mくらいでしたが、子どもたちは、川にタモ網を入れ、汗と水に濡れながら一生懸命に雑魚を追いかけて回していました。

水の中の雑魚すくいとはいえ、炎天下では熱中症の心配もあるため水分補給しながらの観察会となりましたが、みんなでたくさんの生き物を捕まえることが出来ました。



越冬した2年モノのイバラトミヨ、アカハライモリの幼生、トノサマガエル、ドジョウ、ホトケドジョウ、ホクリクヨコエビ、コオイムシ、ヤゴと水草ではバイカモをはじめ希少種が多くありました。

みんなで捕まえた魚は、当会の生き物担当の藤田さんと五泉トゲツを守る会の樋口さんとで体長を測定し川に返してあげました。子どもたちは、「次はいつやるの？また一緒にやろね！楽しみにしているからね」と言って、藤田さんから水槽で飼える生き物の説明を受けて持ち帰りました。

参加者からは「日本の原風景」「久保の用水は水路ではなく、本当に春の小川ですね」「ふるさとの川には、思い出がいっぱい詰まっている」などの声が聞かれました。



まるまる太ったイバラトミヨ



アカハライモリの幼生



生き物調査隊！やった～

久保地区イバラトミヨ保全地踏査

ほ場整備事業の整備計画策定にあたり、8月31日の午後から農地事務所や地域の方々など関係者と一緒に関保地区の保全地踏査を実施しました。



イバラトミヨ生息地保全説明会

9月7日、新発田市地域整備部庁舎2階の会議室で、県新発田地域振興局農村整備部、新発田市地域整備部、農林水産部に対しイバラトミヨ生息地についての情報提供を行いました。



また、これまで行ってきた保全活動の概要を説明し、地域との連携や地域への情報の提供に対する協力を訴えました。

「派川加治川」何がすんでいるのかな？

1. どうして調査をしたのかな？

派川加治川は、かつては加治川の本流でしたが、加治川分水路の完成した後は、農業用水路として利用されています。河川内は土の水路で、生活排水も流れてこないのので、豊かな自然環境を残しています。

この調査は、派川加治川を地域の「地域住民のいきいき・安らぎの場」とするために、生息する生物のデータを収集することを目的に聖籠町により行われました。



2. なにがすんでいたのかな？

派川加治川は流れが緩やかなため、河川の中・下流に特徴的なタイリクバラタナゴやオイカワなどの生物がたくさんいました。岸寄りにはマコモなどの水辺の植物も豊富で、魚の稚魚も多く、良好な産卵場になっているようです。水底にはインガイがたくさん生息し、タナゴ類と共生していました。水辺にはサギ類やカワセミなども飛来することから、魚食性の鳥類を頂点とする良好な生態系が維持されていると思われます。



外来種としては、アメリカザリガニ、ウシガエル、タイリクバラタナゴが確認されましたが、特定外来生物被害防止法に指定されているブラックバス、ブルーギルなどは確認されませんでした。

現在の良好な環境をずっと維持していきたいものですね。

利用して下さい「加治川流域の川と生きものMAP」

加治川流域に生息する水生生物と植物を紹介したのリーフレットです。当会では、学校や環境学習のご利用目的に限り『無償』で配布致します。必要部数を当会事務局までお知らせください。

また、他の目的でも請求に関しましては1枚/100円で販売させていただきます。



加治川ネット21の活動 2005年4月1日～5月31日

6月の事業

- 6月 5日 全国一斉水環境調査実施 11名参加
- 6月 9日 豊浦郷土地改良区「太斎地区総会」環境配慮の学習会
- 6月10日 新発田市PTA評議委員会で「加治川マップ」の紹介
- 6月14日 新発田市役所ホールにて「環境大臣表彰の賞状を展示」
- 6月16日 環境大臣表彰祝賀会打合せ（最終出席者の打合せ）
- 6月18日 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰祝賀会開催
- 6月19日 内の倉ダム湖外来魚駆除 開催
- 6月23日 イバラトミヨのポストカード販売開始
- 6月23日 新発田市立米倉小学校にて総合学習
- 6月24日 古太田川親水事業推進協議会 出席
- 6月24日 佐々木小学校「いきもの」リーフ 80部提供

7月の事業

- 7月 7日 7月定例会開催
- 7月17日 宮古木・集落水辺環境生態系調査観察事業
- 7月22日 新潟県立植物園 全国巡回展 絶滅危惧植物展にて紹介

8月の事業

- 8月 4日 8月定例会 10名参加
- 8月 7日 水辺の大楽校「ぼくらは加治川探検隊」開催 一般55名参加
- 8月 8日 水士里ネット豊浦郷 イバラトミヨ生息地について 2名
- 8月19日 下越地区緑の少年団交流集会（加治川探検・五十公野公園探）
- 8月21日 太斎・久保地区「ふるさとの生き物観察会」開催
- 8月30日 派川加治川の生物調査（主催:聖籠町、県農村整備部）
インストラクター派遣

～国営・県営用水路いきもの調査～

「三面水路」生きもの調査に初挑戦!!

7月17日(日)、宮古木子ども会主催の国営・県営用水路いきもの調査が行われました。

この事業は、国営・県営水路水辺環境推進事業に関わる計画事業の一環として「水路・水辺植栽・水辺環境生態系観察調査」と銘打って行われたもので、当会も共催として協力しました。



当日は快晴に恵まれ、午前8時に宮古木地区コミュニティセンター前に集合。車野小学校児童18名と保護者の方、当会と土里ネット川東、宮古木会、槻の木会の人たちが60名くらい集まりました。

今回は宮古木集落を中心としての上流部、加治川の取水口から集落までと集落内、集落の下流側と3班に分かれ、それぞれのリーダーの元に移動し調査開始です。すべてがコンクリートの三面張りの中での捕獲調査ということで、どんなものをとらえることができるのでしょうか。

10時過ぎには、それぞれの班が捕まえたものを持って続々とセンター前に集合です。

上流の調査班の人たちの捕獲結果は、ヤマメ数匹とスナヤツメということで寂しいものでした。

集落内を調査したこの班では、シジミ(貝類)もゲット、ウグイとアブラハヤなどちょっと魚種も増えました。

下流を調査したこの班では、ウグイ、スナヤツメ、トノサマガエル、ドジョウ、オニヤンマのヤゴ、マツモムシ、カワニナなどが捕まりました。土水路までとはいきませんが、それでもたくさん捕まりました。

生きもの観察の後はセンターの中で「新発田の自然環境・加治川がつなぐ」と題した藤田理事の講演です。生態系ピラミッド、食物連鎖で山と川がつなぐ世界の海で起こっている環境ホルモンの影響、新発田のイバラトミヨの特性についてなど、身近な話題から世界的な問題まで子どもたちにもわかりやすく話をしました。また、「昆虫の生態について」と題しプチ講演も行われました。



NPO法人 加治川ネット21 様

17日の国営用水路整備促進事業の一環として実施いたしました【生き物探検隊】にご協力を賜り、感謝申し上げます。

終わった後、子供たちや保護者の方々に感想を聞いてみたところ『非常に楽しかった』あるいは『トノサマガエルやスナヤツメ等が新潟県の絶滅危惧類であることが、今回参加したことによって初めてわかった』『非常に有意義な活動だった』などの声が上がっていました。

もう少し事前に、土地改良を含め相談できれば、もっと内容を充実させることが出来たと思うのですが、何せ『生態系調査を子供たちを中心にやってほしい』と言われたのみだったもので、いたらぬ点だらけで申し訳ありませんでした。

当日ご協力を頂きました、会員の皆様にもよろしくお伝え下さい。本当にありがとうございました。

宮古木子ども会地区幹事



新たに入会された方を紹介します。

木村 修さん (山梨県)	鳥山 千鶴子さん (新発田市)
上原 全さん (新潟市)	佐藤 友和さん (新発田市)

目より情報 * 会員さんもネットの他にいろいろな活動をしているよ。ちょっと紹介しちゃいます。

☆聖籠の子どもたちにセーリングを普及する会

代表：甲斐幸さん 事務局：(未定)

情報提供会員：東山晃さん

設立目的：2009年に新潟県で開催される国体ジュニア選手育成を主たる目的としながらも、ヨットをとおして、子どもたちに自然のたくましさや豊かな水辺のすばらしさを伝えられたらと思います。

興味のある方や何か協力したいという方など、お気軽に甲斐Tel0254-27-5120までお電話下さい。

主な活動：手始めに子供ヨット試乗会を開催し、子どもたちとヨットとのふれあいを促進中

【第1回 聖籠の子供ヨット試乗会の報告】

8月28日(日) 聖籠町の網代浜には、子どもたち8名を含む家族連れが集まりました。ヨットに乗るのはみんな初めて。

まずは陸上で基本的な動作の講習。聞くより実践、「はじめてのヨット」体験では、年長者は単独、小さい子はスタッフとともに海に出ました。初心者むきの風の中、何とか港内をひとりで行ったりきたり出来るようになりました。午前中にすっかりコツをつかんだ子もいて、子供の吸収力には驚かされるばかりです。元気な子は、やっぱり海が大好きですね。



☆ダムを奏でる会

代表：若月学さん 事務局：若月建設(株)内

情報提供会員：若月学さん

設立目的：新発田市には全国でも珍しい、ダムの中に大きな空洞のある「内の倉ダム(中空ダム)」があります。イベントをとおして、人々の生活を支えているこのダムについて知ってもらいたいです。

興味のある方や何か協力したいという方など、お気軽に若月Tel0254-31-4111までお電話下さい。

主な活動：毎年秋に、内の倉ダムの室内空間を利用した演奏会を開催しています。

【第4回 内の倉ダム、室内空間演奏会のご案内】

ダムの中に大きな空洞のある「内の倉ダム(中空ダム)」は、残響音が残る不思議な音響空間です。

水のしずくですら幻想的な音のシャワーと化します。内の倉ダムで音のシャワーを浴びてみませんか!?

演奏者の紹介

【ピ ア ノ】

【ベ ー ス】

【ド ラ ム ス】

日時：平成17年10月15日(土)

受付13時から

受付：内の倉ダム管理所前(新発田市小戸)

参加費：500円

申込み：9月26日(月)~10月8日(土)

先着70名(先着順)

方 法：希望人数、お名前、ご住所、電話番号を添えて若月建設(株)へ



佐藤 孝



小島 慎二



佐野 郁夫

その他：対象年齢は小学校4年生以上です。ダムの中は寒いですから、暖かい服装でご来場ください。

車いすの方の入場も可能です。(会場設営準備のため、事前にお教えください。)

詳細は、「ダムを奏でる会」事務局(若月：Tel 0254-31-4111)までお問い合わせ下さい。

主 催：ダムを奏でる会 共 催：新潟県新発田地域振興局 後 援：新発田市

「私の加治川」写真を募集しています。

募集要項 この事業は、地域の可能性を見つけるものです。「私と加治川」というカメラアイを大切に考え、撮影の年代は問いません。加治川流域における自然や文化を対象とします。

写真サイズ プリントはキャビネ以上とします。なお、写真にはコメントを付けてご応募ください。データ画像の場合は1MB程度（5MBまで応募可能）ファイル形式はJPEG、TIFF、BMP ※データ画像は、大きすぎると受け取ることができません。ご注意ください。

作品賞
大賞 1本（50,000円）
準大賞 2本（20,000円）
優秀作品賞 40本（新発田の物産）
※審査は各分野で構成した審査員で行います。



応募先 「私の加治川」実行委員会
〒957-0053 新発田市中心3丁目13-3
新発田市地域交流センター（財）新発田市まちづくり振興公社 内
デジタルデータ受付：d-kajikawa@van-rai.net
携帯電話がデータ受付：m-kajikawa@van-rai.net



お問い合わせ 「私の加治川」実行委員会
電話：090-3642-8708 担当：小柳、上村

主催 「私の加治川」実行委員会、NPO法人加治川ネット21

募集期間 平成17年**5月1日** から 平成18年**3月31日**

※前期（H17.5.1～H17.9.30）・後期（H17.10.1～H18.3.31）終了時点で展示会を開催予定

イバラトミヨの自然画葉書 販売開始!!



このたび「イバラトミヨ」をイラストレーター木村修氏（聖籠町出身）の御厚意により書いていただき、販売することになりました。

購入を希望される方は、販売店若しくは、担当者までお問い合わせください。

【価格】 150円/1枚（店頭販売価格）

【取り扱い店】 萬盛社（新発田市） ビュー福島潟（旧豊栄市）
加治川ネット21事務局（新発田市）

会報編集委員会	水新聖(財)技藤遠若	若藤遠相東	報告文協力
	土発籠(財)術田藤	月田藤馬	協力
	里発籠(財)術田藤	月田藤馬	協力
	市田(財)術田藤	月田藤馬	協力
	役町(財)術田藤	月田藤馬	協力
	場都(財)術田藤	月田藤馬	協力
	所社(財)術田藤	月田藤馬	協力
	川社(財)術田藤	月田藤馬	協力
	東社(財)術田藤	月田藤馬	協力
	東社(財)術田藤	月田藤馬	協力

と精とイ自然関のしほ 族しま酒阿節わ影終し豪今
思一しバ然係今た場また揃いす文賀がりさ響わた雨年
杯てラ環機後。整で。化北や、て。もつ。に。よ
取認ト境関にイ備。す。探池つ、食、心たそ。による
まめヨ象皆は。業。ら。訪沼てきべ暑配そ。被
組もを徴様。は。動。久。加。ど。も。予。査。す。美。の。夏。れ。か。梅
でら地と。は。ヨ。き。保。だ。さ。ご。き。つ。れ。の。今。後。は。季
いるのい。豊地生。出。地。さ。い。ご。き。つ。れ。の。今。後。は。季
きよ誇え。か。城。息。し。の。ご。き。つ。れ。の。今。後。は。季
たよりの。な。や。地。ま。の。ご。き。つ。れ。の。今。後。は。季
い。り。る。な。や。地。ま。の。ご。き。つ。れ。の。今。後。は。季

編集後記